



しりべしネットのキャラクター「アイチャン」が決定しました。

投票により、最優秀賞が2作に!

昨年11月28日に行われた第2回センタースタッフ研修会で、参加された地域センター関係者やスタッフなどにより、キャラクターの図案を投票しました。

今年度、センタースタンプラリーの実施と一緒に募集されたキャラクターは、応募総数90通(応募用紙、はがきで84通、メールで6通)。なんと最優秀賞にはノートパソコンが当たる豪華なものでした。



キャラクターの決定は、当日参加された方に、1人5枚、赤丸のシールを渡し、気に入った作品5個に赤丸シールを貼ってもらい、赤丸シールが最も多く貼られた作品を「最優秀賞」、10番目まで多く赤丸シールを貼られた作品を「優秀賞」とします。

その結果、最優秀賞が2作になり、最終的に2案を合作という形で決定いたしました。しりべしネットのキャラクター「アイチャン」をよろしくお願ひいたします。



地域と一緒に「しりべしのみちづくり」



“しりべし流”分かりやすい案内表示方法がないだろうか…。平成16年度に実施した“オススメ観光モデルルート調査”では、実際に地域を旅した方や地域に在住する方からの利用者の視点による“新しいモデルルートの提案”を得ました。そこで、今年度は行政が一方的に整備するのではなく、住民や利用者の意見を踏まえながらどのような案内情報が良いかについて考える“地域と一緒にしりべしのみちづくり”に取り組みました。

今回の調査区間は積奇岩や、海・山と大きく変化する地形であり、風景がドラマティックに移り変わるルートであることがわかりました。もともとある自然景観がとても貴重で、それがしりべし流であるといえるのですね。調査・発見した資源を活用して、安全で快適なドライブができ、かつこの地域の魅力も一緒に伝えることができるマップを作成する必要があると、参加者の皆さんとともに再認識できた一日でした。



研修会の詳細については、タウンロードページからご覧になれます。詳しくは裏面の「お知らせ」で。



しりべしセレクション



紹介された商品を試食



前に出てそれぞれPRを行いました



集められた数々の特産品



1日目に試飲されたお酒

今年度から取り組む「セレクション事業」は、しりべしシステム事業の自主運営に向けた基盤づくりを目的としてスタートしました。そのための基盤づくりとして、地域のスタッフの方々にも自分たち以外の特産品を勉強してもらおうと、スタッフ研修会で「まず既存の特産品を知ろう!」というテーマで、実際に味わいながら確認を行いました。

自分のまちのよいところを積極的に紹介をすることで、改めて自分のまちを見直してもらおうと共に、後志にある隠れた逸品から有名商品を試食することができた充実の研修会でした。



研修会の時に紹介された特産品は「後志魅力展」にも出展されました!!

後志のいいもの Selection

後志魅力展の会場の様子は中面をご覧ください。



後志魅力展

2月18日19日
13:00~21:00 10:00~21:00

後志の魅力がぎゅっとつまった2日間。

会場 小樽運河プラザ
(小樽市色内2丁目1-20)

今年で4回目の開催になる「後志魅力展」は、「しりべしネットシステム」をより多くの方に知ってもらうため、また地域活動の活性化をはかることを目的に、北海道を代表するイベントになりつつある「小樽雪あかりの路」の期間中に開催しました。また、今年は「小樽雪あかりの路」「後志魅力展」のふたつのイベントと連携し、「みんなに優しいおたるを体験しよう」というテーマで、様々なユニバーサルプログラムが催されました。雪道に不慣れな方、小さなお子様やお年寄りの方、体の不自由な方にもイベントを楽しんでもらうための取り組みです。

もちろん、例年行われている「ネットシンポジウム」や「ネット交流会」も開催され、足を運んでくださったスタッフの方々と一緒に一年間を振り返りながら、観光カリスマでもある小国町の宮崎町長と「しりべし」の新しいツーリズムの実践について語り合う時間を過ごすことができました。

しりべしネットシンポジウム 2006.2.18(土) 13:30~19:00 (13:00開場)

■基調講演～元気なまち小国町に学ぶ～

後志地域の活性化をテーマに、地域が一体となって取り組むことの重要性、地域の人々が日常生活に参加することの重要性について、熊本県小国町の取り組みや理念を参考に話し合いました。

●地域の資源を再生する営み

地域の魅力とは、古い歴史を再生していただくだけではなく、「変化」というものを取り入れていくことでつくられる。小国町のきっかけは「ゆうステーション」。宮原線小国駅(S59年廃線)の2万haの跡地をどう使うかが課題となったときに、250年の歴史を持つ小国杉を利用した木造の施設を建築した。それは当初、6割、7割の住民が反対していたほど常識はずれなものであった。

●ツーリズム(新しい旅)の町に

次に、「学習と交流」という受け皿をつくることを試みた。自然学校では、子供達に入学する前と卒業する頃では全く違う表情や行動が見られる。小国の各施設を使った体験の実習など様々なことに取り組んでいるツーリズム大学も、卒業生たちが戻ってきて「小国パートナー」としてバックアップしてくれている。

今回のテーマ「新しい旅」とは、自分たちの暮らし方、暮らしの町を考え、どんな生き方をしたら良いか、どんな所に住んだら幸せかを地域づくりの中で考えることである。小国町は、まちづくりに背中を押されて踏み切った個人や、集落のそれぞれの多様な取り組み、住んでいる人々のつながりが実践されているのである。

チャレンジして新しいものを生み出さなければ、なかなか新しいエネルギーは育ってこない。様々なチャレンジを、実際に町の中でどう実現していくのが重要である。そしてそれらに触れ、町外から来た人のいろんな話を聞き、それによって、自然と地域住民の新しい気持ちを風土というものがつくられる。

また、『規則』は変えていく努力をしていかないと何も変わらない。そこにチャレンジすることで町の元気を作り出していくことになる。行政はチャンスをつくりだすことができる。そのチャンスを個人の人々がどう展開していくかにかかっている。



講演 熊本県小国町長 宮崎 暢俊 氏
「新しい旅のかたちをリードするカリスマ」として九州ツーリズム大学の運営などツーリズムをリードし、地域を活性化。都市との交流や、山村の自然・歴史・文化・人とのふれあいなどからなる新しい「ツーリズム」の考え方を提唱されています。



■パネルディスカッション～しりべしニューツーリズムの実践に向けて～

●これからのしりべしニューツーリズム

みんなが生きがいや楽しさを見つけ、自分なりに参加している意識を持てば、それがまちづくりの還元される。1つが目立れば避難を浴びることで、みんなが刺激的なことをやれば、次の刺激的な取り組みもできるという状況になる。仲間を増やす、同じことをする必要はない。それぞれの取り組みを支える地域であるべきである。

そのためにも地域の人たち一人一人が、自分に何ができるんだ、何を自分で実践するんだということを考え、そういったことを地域のみならず後志を含めた共通認識にしていく必要がある。また、行政には、必要な時には率先して、いろんな取り組みを応援してあげる役割がある。(宮崎町長)

官民間問わず、地域の人たちがそれぞれ一人一人が自分で実践することが重要。さらに、地域の人たちがお互いの意思を共有し合い、ネットワークの結びつきも深めることが「地域力」になる。そういう取り組みができる地域に、人はひきつけられていくのだろうと思う。(総括:木下コーディネーター)



コーディネーター
木下 裕三 氏(しりべしシステム運営部会副会長)

パネリスト
宮崎 暢俊 氏(熊本県小国町長)
今井 幸世 氏(しりべしシステム運営部会副会長)
逢坂 節子 氏(積丹観光協会)
馬場 希 氏(赤井川村役場)
吉川 英昭 氏(北海道中小企業家同友会しりべし小樽支部(農業経営部)会員)

●小樽を訪れた人に「しりべしシステム」のPRを

「しりべし」を大いにアピールするための会場づくりと多様なプログラムが、イベント開催の2日間で行われました。「特産品販売コーナー」では、i ネット研修会で検証した“後志のセレクション”より、2日間限定販売が可能な商品を数品選定し、セレクション事業のビジネスモデル構築に向けた試験販売を行いました。「パネル展」「DVD上映」では、後志の魅力やしりべし i システムの活動を紹介するパンフレットやDVDが閲覧できるように設置し、i ネットを体験できるインターネットカフェも用意されました。

「しりべし i ネットカフェ」のスペースは、「ミニFM」や他事業連携イベントとして実施した「ゆきみち・おたるんテーリング」のアンケート回答場所としても利用され、温かい飲み物を飲みながら、くつろぐお客様が多く見られました。

i ネットカフェで「初めてこのサイトを知った」というお客様もあり、i ネットの認知度向上の一役を担うことができましたようです。



しりべし i ネットラジオ(ミニFM)

●他事業との連携

観光ユニバーサルデザインの促進に向けたイベントプログラムでは、ホテルノルド小樽での「長靴貸し出し」を実施し、メディアから高い評価をいただいたそうです。それに関連し、雪道に不慣れた観光客等に「つつるマップ」を配布し、安全な歩行を促す情報提供を行いました。それらの情報は、2日間限定で設置した「JR小樽駅 i センター」や「ミニFM」でも案内され、「後志魅力展」会場への誘致を促進することができました。



特産品販売コーナー



パネル展



DVD上映



しりべし i ネットカフェ



雪あかりコンサート

他事業との連携



JR 小樽駅 i センター



ゆきみちも安心・長靴貸し出し



ゆきみち・おたるんテーリング



観光のユニバーサルデザインフォーラム in 小樽

地域の声

事業に関わる様々な方々からの声が反映された“地域の声”をお届けします。今回は、「しりべしシステム事業運営部会」副部会長兼余市iセンタースタッフの今井さんと、黒松内iセンターの菅原さん(黒松内町企画調整課3月末現在)から「しりべしシステム」の今後の展望について想いを寄せていただきました。



余市iセンター 今井幸世さん

しりべしiネットは今年で構想から5年目を迎えます。多様な旅スタイルとなった時代に対応しよう！とリアルタイムに情報を発信し、地域の玄関口としておもてなし心いっぱいインフォメーションをするiセンターもスタート時の4ヶ所から12ヶ所となりました。

今年は新たなiセンターも数ヶ所増えそうです。ですが知名度がイマイチ。どうしたら広く存在を知らせることができるのか？不足な情報は無いのか？多様なユーザーに対応しているのか？と民のアイデアと行動力を発揮し、官の計画性と蓄積されたノウハウを生かしながら常に利用者の立場になって考えています。

ユーザーも多様ですがきめ細やかな旬の情報発信はできていると思いつつも次に望まれるメリットの供給、共有が今後の課題です。それには事業化構想を現実的に考えていかななくてはなりません。もっと詳しく～、欲しい！に対応出来るように考えていかななくてはなりません。団塊世代の大移動、ますますオリジナリティ豊かな旅となるであろう未来。「時は何を求めているか？」を考え続けるしりべしシステムであることは変わらないでしょう。



黒松内iセンター 菅原英幸

「コミュニティ」。同じ地区に居住する者同士が、深く結びついている地域社会のことを表す言葉。地震等の大規模災害が発生によってその価値が見直され、最近では“地域力”の充実という面からもその機能の回復が求められています。

しりべしシステムの活動は、地区というには広すぎる後志地域全体をカバーするものですが、その大きな面積に広がる活動を、インターネットというツールで互いの距離を縮めながら、観光振興という共通の目標に向けて、熱い議論を交わし、互いの結び付きを強くしています。

情報を発信する人、サイトを構築する人、事業全体を取り仕切る人、サイトを見てくれる人、iセンターを訪れる人達。まさにインターネットを活用した新しい地域コミュニティではないか。会議の出席率が悪い私が語るのもおこがましいですが、先日開かれた全体調整会議、その後の交流会を見ていて、そんなことを感じました。

後志は札幌圏から近いこともあって道内屈指の観光入込み客数を擁するエリアだけに、しりべしシステムを利用する人はもちろん、作っている人達も存分に楽しみながら、後志に住む人、この地を訪れた人、訪れようかと考えている人まで含めて、みんなを結び付ける「しりべしシステム」であって欲しい、そう願っています。

ジュジュ jouejoue企画チームに 感想を伺いました。

ご存知でしたか？今年からミニ冊子に生まれ変わったジュジュ。地域スタッフの方々によってつくられているのです。

ジュジュ編集における地域の取り組み

「ジュジュ企画チーム」の構成員として選ばれた地域スタッフの方は、全部で4名。最初の特集項目「お酒」の時は、初めての取り組みということもあって、少し戸惑いがあったようですが、2回目のテーマは全員一致ですぐに「お菓子」に決まったようです。

企画の方法は、テーマ内容についてメンバーの4名がそれぞれがメールを使って意見交換を行います。メールでのやり取りを繰り返すうちに、誰かの意見を待つだけでなく自身から提案できるようになってきており、皆さん徐々に慣れてきた様子。

今回のこの取り組みは、これまで勉強会や研修会といった「聞く・受ける」だけでなく、地域のために自分たちで「提案・企画」しようとする、今までになかった新しい関係づくりです。今後もメンバーには取り組みを継続してもらうことになります。編集などの作業にも挑戦したい！そんな頼もしい声も聞こえてきています。

メンバーの皆さんに今年の取り組みの感想を一言いただきました。

i 仁木観光協会 伊賀聖子さん

「お酒」「お菓子」シリーズのジュジュにたずさわり、ココの町は何がご自慢？思いかけない地元しかわからない物とか、あ～これ知ってるとか、これ食べてみたいとか、後志管内は宝の宝庫ではないかと思わず見直してしまいました。

また、情報協力も忙しい時期でしたが、皆さんも快く協力して頂き有り難うございました。新シリーズが始まると思いますが、皆さんご協力お願い致します。

i 積丹観光協会 松尾えり子さん

後志の様々な情報をどのように発信するのかという企画に携わる事ができ、わが町の情報についても改めて考える事が出来ました。これからも後志をより良く知って頂ける企画を考えていきたいと思えます。

i 岩内町臨時職員 月野詩織さん

今まで一読者の立場から、企画に参加することで、自分の地域や他の地域のテーマについて興味が倍にも3倍にもなりました。他の市町村との交流もとても親近感がでて、iネットでお会いするのがとても楽しくなりました。

i 株式会社セコリポート観光協会 松田志伸さん

お酒特集の時は、ウイスキーに近い味の小樽の焼酎や、岩内海洋深層水の地ビール、もち米を原料にした純米酒等々、後志には海あり山あり、美味しい物揃いだどつくづく感じました。

メンバーの皆さん、これからもよろしくお願いします！



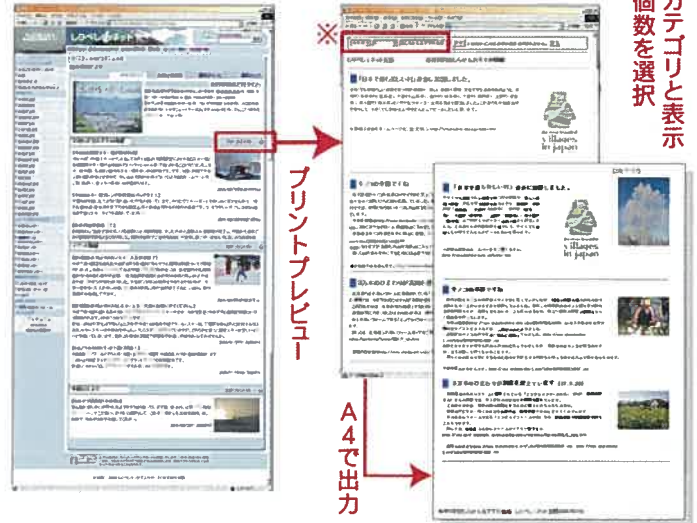
メンバーが初めて手掛けたテーマは「お酒」

しりべしi ネット瓦版

「しりべしi ネット瓦版」が11月1日から施行されています。

「瓦版プリント用」をクリックすると、印刷プレビュー画面が表示され、必要な情報をA4サイズに出力することができるようになります。iセンターを訪れたお客様にも旬な情報を簡単にご紹介することができますので、是非ご活用ください。

※
カテゴリーと表示
個数を選択



※
プリントアウト

A4で出力

お知らせ

しりべしiネットの左サイドバーメニューにある「ダウンロードページ」より「後志魅力展」の詳細のレポートが確認できます。

今年度実施されたスタッフ研修会の様子も報告しています！

iセンタースタッフの頑張りをご覧ください。



↑ここをクリック

会議記録

▶ 第3回全体調整会議

平成17年度の後期事業の活動についての報告と、「後志魅力展」についての事前打ち合わせが行われました。

◆日時：平成18年2月1日 13:30～

◆場所：後志合同庁舎車庫棟 会議室

▶ 第4回全体調整会議

「後志魅力展」についての報告が行われました。また後期事業活動のしりべしまるごと事典、セレクション事業の報告がされました。

◆日時：平成18年3月20日 15:30～

◆場所：余市町 ホテル水明閣

▶ 官民連携事業勉強会

地域ならびにiセンターが地域の道路情報を収集しiネットを通じて発信を行っている冬道実験などの結果について報告されました。

◆日時：平成18年3月20日 13:30～

◆場所：余市町 ホテル水明閣

しりべしiシステム事業運営部会

事務局：後志観光連盟

北海道後志支庁商工労働観光課内

連絡先：0136-22-1111（内線2427）